

先進的IoTプロジェクト支援事業

途上国をクロスボーダーで結ぶ超音波画像の読影支援
プラットフォームの中南米地域向け適合化および活用実証調査

レキオ・パワー・テクノロジー株式会社

2018年1月31日

プロジェクトの概要

- エコー(超音波診断装置)動画の読影支援プラットフォームを世界中の途上国向に展開。
- その中で不可欠な中南米対応(ポルトガル語/スペイン語対応)を本事業にて実施。
- ブラジルとキューバの2カ国の医科大学と連携し、ユーザ支援プラットフォームの中南米向けユーザビリティの向上ならびにプラットフォーム運営のための現地協力体制の構築を行う。
- 世界初のエコー動画データベースの構築へ向けたプラットフォームとしての改善を施す。

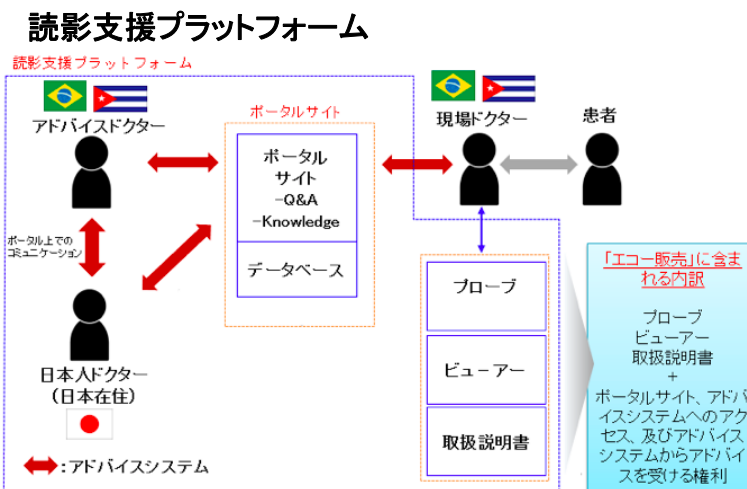
従来

スーダンにおいてUSB接続する安価で高性能なエコーを用いた妊産婦検診を実施



本プロジェクト

ブラジルとキューバにおいて本サービスを実証し事業化の基盤を構築



- 限られた医療機器。MRIやCTはもちろんエコーも大都市の一部の病院にしかないのが実態
- 現地ドクターのエコー読影スキルアップも必要

エコーの読影支援プラットフォームを通じて現地医療スタッフのスキルアップ。へき地医療の課題解決に貢献。

実施内容

読影支援プラットフォームのローカライズ

- ブラジル及びキューバへの導入を見据えたポルトガル語、スペイン語対応
- 現地ドクターに使用してもらいローカライズ精度やシステム品質の評価を実施






サービスの効果検証

- ブラジル、キューバの現場ドクターにおける診断プロセスを視察調査
- 大学、政府機関等と交渉し現地ドクターらとの協力体制を構築
- 現地ドクターへのヒヤリングを実施しサービスの有効性について評価

ビジネスモデル検証

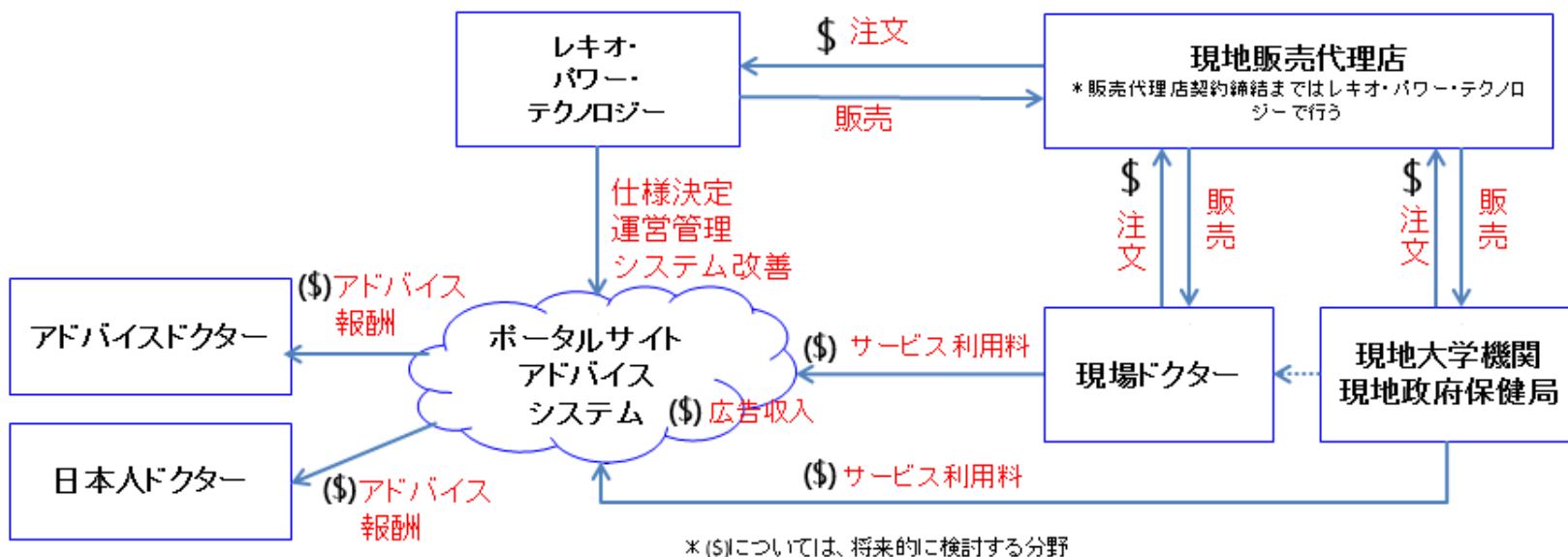
- 本プロジェクトへの継続的は参画意思について現地ドクターにヒアリング
- 現地協力ドクターへの支払い等コスト算出及びマネタイズモデルの検討
- キューバ、ブラジルにける超音波動画データの取扱、アドバイスドクターの活動に対する規制等について調査
- 販売代理店網の構築及び医療機器認証申請にかかる作業の調査

プロジェクト成果

	成果目標	実績	達成度
読影支援スキームの検証	ローカライズ精度やシステム品質を4段階で評価し3点以上割合が半数以上	ブラジル(5名)キューバ(5名)の全てのドクターが3点以上	
	確定診断に効果的であるかを4段階で評価し3点以上割合が半数以上	両国とも医療機器認証を取得していない為、公な医療現場での診断への適応は不可能であったが、デモや試用を通し両国とも全てのドクターが3点以上	
ビジネスモデルの検証	本ビジネスへ継続的に参画するアドバイسدクター2名へ持続的に参加する意思を確認し契約締結	両国とも契約締結には至らなかったがブラジル5名、キューバ5名のドクターから継続的な協力の合意を得た	
	販売代理店2件との契約締結	キューバでは公共調達にかかる公社について確認。医療機器認証取得後に総代理店になることで合意。	
	エコー販売の為に必要な医療機器認証申請手続きを完了 製品、サービスの購買意欲について、本製品にいくら支払うのか確認	キューバにおいては公共調達スペックインする際に詳細確定する。ブラジルにおいてはANVISA登録に必要な申請を提出済み。6,000米ドル~8,000米ドルのレンジで購入意欲があることがわかった	

事業化に向けた課題と展望

当初想定したビジネスモデル



ステップ I

- エコ販売の売り上げをマネタイズモデルの基本
- 読影支援プラットフォームの無償提供により売り上げ促進を図る

ステップ II

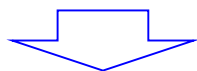
- ポータルサイト利用料、広告収入によるマネタイズを図る
- アドバイスドクター等協力者へ報酬を支払いインセンティブとする

事業化に向けた課題と展望

ビジネスモデルの見直し

キューバ

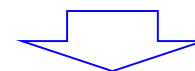
- 医師は全て公務員なので利用料等の支払いはできない。



- 政府機関からの利用料を見込む。
 - ⇒キューバ保健局：国内医師向け
 - ⇒キューバ医療輸出公社：海外派遣医師向け

ブラジル

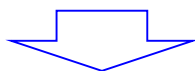
- 競争のある都市部の医師には利用料を支払う層があるが、ルーラルエリアではその意識が薄い。



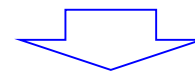
- ポータルサイトの利用は無償のままとし会員数の増加、データの蓄積に注力する。
- 広告出稿のポテンシャルユーザー
 - ⇒医療関連ディーラー
 - ⇒病院の求人

両国共通

- 想定以上に医療機器に関する規制が厳しい。
- 医療サービスとして安定収益までに時間を要することが想定。
(但し、一旦サービス基盤を構築できれば競争は少ない)



- 医療機器認証(キューバでは公共調達採用)を確実に進める



- 安定化に向けたステップとしてハードルの低い市場へアプローチ
 - ⇒動物病院向け
 - ⇒教育期間向け(医学生)

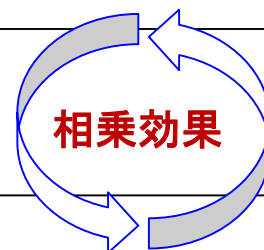
事業化に向けた課題と展望

診断への有効活用

読影診断プラットフォームのポータルサイトが多くのユーザーに利用されるためには、エコー動画が十分に蓄積され、診断に活用できる魅力的なものであることが重要である。

データ蓄積のための活動

- サービスインの時点で20程度の症例についてデータを蓄積することを目標にする。
- 既存のプローブ(超音波スキャナー)ユーザーにポータルサイトの利用を促すインセンティブ(謝礼金)を提供する。
- エコー動画投稿やコメントの入力に対して一定のインセンティブを提供。



ユーザー数を増やすための活動

- ポータルサイトのユーザー数を増やすためにはプローブの販売を加速する必要がある。
- 医療機関における利用に加え教育現場におけるプローブの利用も促進していく。
- 超音波読影技術を教える学校などをターゲットに教授と学生をポータルサイトのユーザーとして獲得する。

本プロジェクトによるステージアップ

南米向け読影支援プラットフォームを完成しキューバ及びブラジルの現地ドクターによるサービスの有効性が確認できた。政府機関、大学、販売代理店など関係機関との協力体制も構築でき事業化に向けた基盤が整った。

